

平成29年刊行

消 防 年 報



天王グリーンランド

秋田県男鹿地区消防一部事務組合

は し が き

この年報は、平成28年中における当管内（男鹿市・潟上市の旧天王町区域・大潟村）の消防現況と業務概要及び統計を収録し、消防行政の現状等を一般に紹介するため編さんしたものであります。

本年報を、地域社会における防災指針の一助として活用していただければ幸いです。

平成29年8月

男鹿地区消防一部事務組合

目

次

【総務】

一目統計	1
組合の沿革	2
組合の位置・管轄区域・消防本部等の配置図	1 1
管轄面積・人口・世帯数	1 2
消防本部等の所在地	1 2
消防庁舎の現況	1 3
消防組織図	1 5
消防本部事務分掌	1 6
消防署事務分掌	1 7
正副管理者・議会議員・幹部職員一覧	1 8
歴代正副管理者・議会議長一覧	1 9
歴代監査委員・収入役・消防長一覧	2 0
平成29年度当初予算	2 1
職員配置状況	2 2
階級別勤続年数別職員数	2 3
階級別年令別職員数	2 4
消防学校等入校状況	2 5
応援協定等の状況	2 6
緊急消防援助隊の登録状況	2 6

【施設】

一目統計	2 7
車両配置状況	2 8
消防水利状況	2 9
消防特殊資器材配置状況	3 0
通信指令システム構成図	3 2
指令システム概要	3 3
平成28年地区別覚知方法別119番等受信状況	3 4
平成28年月別119番等受信状況	3 4

【予防】

一目統計	3 5
市村別防火対象物数	3 6
階数別防火対象物数	3 7
防火管理者等届出状況	3 8
平成28年度月別建築同意数	3 9
平成28年度工事別建築同意数	4 1
平成28年度広報等活動状況	4 3
平成28年度月別各種届出状況	4 4
構成市村別危険物規制対象数	4 5
平成28年度月別危険物関係処理数	4 6
危険物貯蔵取扱数量	4 7
秋田国家石油備蓄基地の概要	4 8

秋田国家石油備蓄基地建設の経緯	49
男鹿地区防火委員会	51
秋田県優良クラブ表彰／男鹿地区防火委員会会長表彰	52
男鹿地区中学校防火・救急救命弁論大会	53

【火 災】

一目統計（火災概況比較）	55
組合発足以降の火災件数	56
平成28年月別火災状況	57
平成28年市村別火災状況	58
平成28年時間別火災状況	59
平成28年気象別火災状況	60
平成28年市村別出火原因別件数及び損害額	61
平成28年出火原因の分析	62
組合発足以降の主な火災（昭和48年～）	63

【救急・救助】

一目統計（救急概況比較）	67
救急出場件数の推移（昭和48年～）	68
過去5年間の救急出場件数	68
過去5年間の救急搬送人員	68
平成28年月別救急出場状況	69
平成28年署別・市村別救急出場状況	70
平成28年時間別救急出場件数	71
平成28年曜日別救急出場件数	71
平成28年医療機関別搬送状況	72
平成28年年齢別搬送状況	72
平成28年現場到着所要時間別出場件数	73
平成28年収容所要時間別搬送人員	73
平成28年月別ドクターヘリ要請状況	74
平成28年署別ドクターヘリ要請状況	75
平成28年市村別ドクターヘリ要請状況	75
応急手当普及啓発活動実施状況	76
患者等搬送事業乗務員適任証取得講習開催状況	76
平成28年救助活動状況	77

【消防団】

一目統計	79
構成市村消防団長一覧	80
階級別消防団員数	80
消防団施設等保有状況	81
消防団員の階級報酬及び諸手当調	81
構成市村別消防団員年令調	82
構成市村別消防団員勤続年数調	82
構成市村歴代消防団長一覧	83
消防訓練大会成績一覧	84

総務



二ノ目潟（男鹿市）

一 目 統 計

H 2 9 . 4 . 1

組 合 構 成 市 村 (2 市 1 村)	男 鹿 市 湯 上 市 (旧天王町区域) 大 湯 村
管 内 面 積	4 5 2 . 6 4 K m ²
管 内 人 口	5 3 , 6 6 3 人
管 内 世 帯 数	2 3 , 2 1 8 世 帯
組 合 議 会 議 員 数	1 2 名 (定数 1 3 名)
予 算 額	1 , 5 0 4 , 8 5 7 千 円
本 部 ・ 署 数	1 本 部 1 署 6 分 署

H 2 9 . 4 . 1

職 員 定 数	1 5 0 名
職 員 実 員 数	1 4 9 名
職 員 平 均 年 令	3 8 . 3 才
職 員 平 均 勤 続 年 数	1 7 . 0 年
救 助 隊 員 数	特別救助隊 1 7 名 救助隊 3 名
水 難 救 助 隊 員 数	1 7 名
消 防 音 楽 隊 員 数	2 2 名

組 合 の 沿 革

【昭和48年】

- 4月 1日 自治省告示第74号をもって政令指定
- 5月 1日 消防一部事務組合に関する関係市町村長会議で組合規約予算等を決定
- 5月22日 組合消防に関して若美町臨時議会で議決
- 5月23日 組合消防に関して天王町臨時議会で議決
- 5月26日 組合消防に関する規約について大潟村を知事が承認
- 5月28日 組合消防に関して男鹿市臨時議会で議決
- 6月 1日 男鹿地区消防一部事務組合が許可され、設立会議を開催
男鹿市長を管理者とし、1本部、1署、4分署、職員定数80名で
男鹿地区消防一部事務組合が発足
- 8月29日 天王分署に救急自動車を配置（日本船舶振興協会より寄贈）
- 10月12日 本署に広報車を配置
- 11月 1日 天王分署及び若美分署が臨時庁舎で開署し消防業務開始
- 11月12日 第1回男鹿地区中学校防火弁論大会を開催
- 11月12日 本署に広報車を配置（県補助）
- 11月30日 組合職員定数条例の一部改正が議決され3名増員（計83名）
- 11月29日 熊本大洋デパート火災（死者103名）

【昭和49年】

- 3月 7日 若美分署消防ポンプ自動車を更新
- 3月27日 組合職員定数条例の一部改正が議決され2名増員（計85名）
- 4月 4日 天王分署新庁舎が完成し業務開始
- 4月22日 若美分署新庁舎が完成し業務開始
- 4月25日 若美分署救急自動車を更新（日本損害保険協会より寄贈）

【昭和50年】

- 2月28日 本署に化学消防車を配置
- 3月29日 組合職員定数条例の一部改正が議決され5名増員（計90名）
- 4月 1日 北分署に救急自動車を配置し救急業務を開始（日本損害保険協会より寄贈）

【昭和51年】

- 9月 8日 天王分署消防ポンプ自動車を更新
- 10月 8日 本署に消防ポンプ自動車を配置（日本損害保険協会より寄贈）
- 10月29日 酒田市大火（焼失1,767）

【昭和52年】

- 3月28日 組合職員定数条例の一部改正が議決され5名増員（計95名）
- 6月 1日 男鹿地区消防署救助隊発足（10名）
- 6月17日 若美分署救急自動車を更新
- 7月 6日 本署に広報車を配置（日本消防協会より寄贈）
- 8月 7日 有珠山噴火（死者3名 負傷者2名）

【昭和53年】

- 1月11日 本署救急自動車を更新（秋田県共済農業協同組合連合会より寄贈）
- 9月 9日 本署消防ポンプ自動車を更新

6月12日 宮城県沖地震 M7.4 (死者28名)

【昭和54年】

- 2月26日 組合職員定数条例の一部改正が議決され7名増員 (計102名)
- 7月16日 本署に指揮車を配置
- 9月5日 大瀧分署を開署し消防業務開始
- 10月28日 大瀧分署救急自動車を更新

【昭和55年】

11月20日 川治プリンスホテル火災 (死者45名)

【昭和56年】

- 11月14日～12月24日 男鹿南秋医師会の協力により救急隊員資格取得講習を開催し、20名が救急隊員の資格を取得
- 11月26日 天王分署救急自動車を更新 (秋田県共済農業協同組合連合会より寄贈)
- 12月1日 表示マーク制度発足に伴い初交付式を実施

【昭和57年】

- 2月1日 職員昇任試験制度を採用
- 4月9日 本署に資機材搬送車を配置 (旧天王分署救急自動車を改造)
- 7月15日 鉄道線路横断用ホース側溝を新設

2月8日 ホテルニュージャパン火災 (死者33名、負傷者34名)

2月9日 羽田沖日航機墜落事故 (死者24名、負傷者149名)

【昭和58年】

- 2月1日 本署に広報車を配置 (秋田トヨタ株式会社より寄贈)
- 3月15日 本署に大型化学消防車等三点セットを配置
- 3月23日 組合職員定数条例の一部改正が議決され10名増員 (計112名 実員106名)
- 6月10日 本署広報車を更新
- 6月28日 本署に防災車を配置
- 9月1日 本署広報車を更新 (日本消防協会より寄贈)
- 9月16日 天王町追分地区の119番専用回線をマルチ方式に変更
- 10月21日 消防本部・消防署新庁舎起工式

5月26日 日本海中部地震 M7.7 (死者104名)

【昭和59年】

- 3月27日 消防本部・消防署新庁舎に移転し業務開始
- 4月1日 職員3名採用 (実員109名)
- 4月1日 民間防火組織強化を目的に男鹿地区防火委員会が発足
- 4月11日 消防本部・消防署新庁舎落成式
- 8月25日 本署に広報車を配置 (田仲自動車株式会社より寄贈)
- 10月31日 北分署救急自動車を更新 (山之内製菓 (株) より寄贈)

11月16日 東京世田谷電話局ケーブル火災 (約8万9千回線途絶)

【昭和60年】

- 4月1日 職員5名採用 (実員112名)
- 10月21日 本署消防ポンプ自動車を更新 (日本損害保険協会より寄贈)

8月12日 御巢鷹山日航機墜落事故 (死者520名、負傷者4名)

【昭和61年】

- 4月1日 職員1名採用 (実員112名)

- 5月 6日 消防テレホンサービス業務開始
7月 7日 第39回秋田県消防大会を男鹿市で開催

【昭和62年】

- 3月 1日 消防署庁舎前に泡原液タンク（30KL）が完成
4月 1日 職員5名採用（実員112名）

【昭和63年】

- 3月18日 若美分署救急自動車を更新（日本損害保険協会より寄贈）
9月 1日 第26回秋田県総合防災訓練を船川地区で開催
12月21日 北分署消防ポンプ自動車を更新

【平成元年】

- 4月 1日 職員4名採用（実員112名）
7月12日 ファクシミリを導入
8月10日 本署に第2指揮車（4WD）を配置

昭和64年1月7日昭和天皇崩御 1月8日「平成」に改元

【平成2年】

- 3月16日 北分署新庁舎に移転し業務開始
3月28日 本署救急自動車を更新（日本損害保険協会より寄贈）
5月10日 第27回全国消防長会危険物委員会を男鹿市で開催
6月 1日 地図検索装置支援パソコンを導入
7月30日 本署第1指揮車を更新

11月17日 雲仙普賢岳噴火

【平成3年】

- 2月21日 若美分署消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車に更新
4月 1日 職員5名採用（実員111名）
7月26日 本署第1広報車を更新（4WD）
10月31日 男鹿市防災行政無線遠隔制御装置設置に伴い通信指令室を増築
12月24日 天王分署消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車に更新

【平成4年】

- 11月20日 応急処置範囲拡大（9項目）に伴う資器材を導入（本署）

【平成5年】

- 1月29日 天王分署救急自動車を更新（日本自動車工業会より寄贈）
2月12日 本署に救助工作車（救助艇付）を配置
3月16日 職員製作によるミニ消防車、ミニ救急車完成
4月 1日 職員2名採用（実員112名）
8月 6日 東分署及び大湊分署にそれぞれ広報車（軽自動車）を配置
9月30日 大湊分署救急自動車を更新
11月 1日 消防音楽隊（隊員23名）を編成し活動を開始
12月27日 東分署新庁舎に移転し業務開始
12月28日 組合職員定数条例の一部改正が議決され8名増員（計120名、
実員112名）

7月12日 北海道南西沖地震 M7.8（死者202名、不明者28名）

【平成6年】

- 1月10日 東分署消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車に更新

- 2月21日 東分署に救急自動車を配置し救急業務開始（秋田県共済農業協同組合連
合会より寄贈）
- 3月 1日 当組合発足20周年記念誌「組合消防20年の歩み」を発行
- 3月25日 応急処置範囲拡大（9項目）に伴う資器材を導入（天王分署、若美分署）
- 4月 1日 職員8名採用（実員120名）
- 4月 1日 応急手当の普及啓発を図るため、応急手当指導員1名を認定
- 6月 1日 水難救助隊を編成配置
- 6月 1日 応急手当指導員3名を認定（計4名）
- 7月27日 職員製作のジャンボ防火ちょうちん2基完成
- 7月29日 本署資機材搬送車をクレーン付トラックに更新
- 10月 3日 応急処置範囲拡大（9項目）に伴う資器材を導入（北分署、大潟分署）
- 10月13日 大潟村消防団が、第14回全国消防操法大会ポンプ車の部で準優勝
- 12月 1日 秋田県広域消防相互応援協定を締結（17消防本部）
- 4月26日 名古屋空港中華航空機墜落事故（死者264名、重傷者7名）

【平成 7 年】

- 2月28日 本署に防災普及車を配置
- 3月20日 大潟分署新庁舎に移転し業務開始
- 4月 1日 職員の勤務時間見直しにより40時間勤務体制を実施
- 4月27日 救急救命士1名誕生
- 4月28日 応急手当指導員14名を認定（計18名）
- 5月25日 消防職員意見発表全国大会に出場
- 6月 6日 秋田国家石油備蓄基地地中タンク貯蔵所（TK-11、12）の完成検査を実
施、基地内全危険物施設の工事が完了
- 7月27日 全国消防長会東北支部消防署長会議を当地区にて開催
- 8月29日 大潟分署消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車に更新（日本損害保
険協会より寄贈）
- 9月 5日 若美分署広報車を更新（日本消防協会より寄贈）
- 11月22日 救急救命士1名誕生（計2名）
- 11月24日 北分署に広報車（4WD）を配置
- 1月17日 阪神大震災（死者6,434名、不明者3名）
- 3月20日 東京地下鉄サリン事件（死者13名、被害者6,000人超）

【平成 8 年】

- 1月 5日 天王分署ホース架を更新
- 1月31日 応急処置範囲拡大（9項目）に伴う資器材を導入（東分署）
- 2月 9日 本署消防ポンプ自動車（4WD）を更新
- 2月20日 北分署救急自動車を更新（秋田県共済農業協同組合連合会より寄贈）
- 3月29日 情報処理統計調査用パソコン2台導入
- 4月 1日 職員2名採用（実員120名）
- 8月28日 日本消防協会平成8年度防災用車両等資機材交付式を当地区で開催
- 10月 1日 消防職員委員会発足
- 11月19日 救急救命士1名誕生（計3名）
- 12月 6日 長野県蒲原沢土石流災害（死者14名）緊急消防援助隊初出動

【平成 9 年】

- 1月31日 第1回男鹿地区消防一部事務組合消防職員委員会開会
- 2月24日 本署化学消防車を更新
- 3月24日 組合職員定数条例の一部改正が議決され13名増員（計133名、
実員119名）
- 4月 1日 職員8名採用（実員127名）
- 4月 1日 財務会計システム導入
- 4月 1日 救急業務高度化推進検討委員会設置
- 10月 1日 職員6名採用（実員133名）
- 12月 3日 救急救命士1名誕生（計4名）

【平成10年】

- 1月29日 本署救急自動車を高規格救急自動車（4WD）に更新
- 2月24日 天王南分署に消防ポンプ自動車を配置
- 3月10日 若美分署救急自動車を更新
- 3月16日 天王南分署に広報車を配置
- 3月16日 天王分署広報車を更新
- 3月20日 天王南分署に救急自動車を配置（秋田県共済農業協同組合連合会より寄
贈）
- 3月20日 組合職員定数条例の一部改正を議決（計149名）
- 4月 1日 職員4名採用（実員137名）
- 4月 1日 天王南分署を開署し消防業務開始
- 4月 1日 本署高規格救急自動車の運用開始
- 11月12日 救急救命士1名誕生（計5名）
- 12月25日 組合職員定数条例の一部改正を議決（計150名）

【平成11年】

- 4月 1日 消防緊急通信指令施設を更新
- 4月 1日 職員7名採用（実員142名）
- 4月 1日 秋田県消防防災航空隊へ職員1名を派遣
- 9月10日 若美分署ホース架建設工事及び庁舎改修工事实施
- 10月16日 秋田県救急隊員セミナーを当地区で開催
- 11月 5日 本署第2指揮車を更新

【平成12年】

- 4月 1日 男鹿地区消防一部事務組合手数料条例を制定
- 4月 1日 職員5名採用（実員144名）
- 4月 1日 秋田県総合防災情報システムの運用を開始
- 5月22日 救急救命士1名誕生（計6名）
- 8月10日 天王分署庁舎改修工事实施
- 11月21日 救急救命士1名誕生（計7名）

【平成13年】

- 4月 1日 職員7名採用（実員150名）
- 6月20日 本署第1広報車を更新
- 7月13日 マンホール救助器具を導入（本署）
- 11月27日 救急救命士1名誕生（計8名）

- 9月 1日 新宿歌舞伎町「明星56ビル」火災（44名死亡）
- 9月11日 アメリカ同時多発テロ事件（死者3,025名うち消防職員343名、負傷者6,291名以上）

【平成14年】

- 3月 1日 消防庁よりテロ対応資機材（防毒マスク21式）の貸与を受け、各救急車に配備
- 3月19日 天王分署庁舎裏擁壁工事実施
- 3月28日 消防無線不感地帯解消のため衛星携帯電話を2台導入
- 7月 1日 地球温暖化対策実行計画策定
- 10月24日 大潟村消防団が第18回全国消防操法大会ポンプ車の部で優勝
- 11月25日 救急救命士1名誕生（計9名）

- 4月26日 新宿歌舞伎町ビル火災の教訓をふまえ28年ぶりに消防法を大改正

【平成15年】

- 1月 1日 男鹿地区消防一部事務組合火災予防条例を改正
- 4月 1日 職員2名採用（実員150名）
- 4月 4日 救助用水上オートバイを配置（本署）
- 9月28日 出光興産(株)北海道製油所（北海道苫小牧市）特定屋外タンク（ナフサ）
- ～29日 の全面火災に緊急消防援助隊として3点セット（大型高所放水車、大型化学消防車、泡原液搬送車）が出動
- 10月31日 天王分署救急自動車を高規格救急自動車（4WD）に更新
- 11月14日 救急救命士1名誕生（計10名）
- 12月25日 組合消防発足30周年記念誌を発行

- 9月26日 十勝沖地震 M8.0（負傷者601名）
- 9月26日 出光興産（株）北海道製油所特定屋外タンク貯蔵所全面火災

【平成16年】

- 2月13日 東分署2B型救急自動車を更新
- 2月13日 本署大型化学消防車を更新
- 3月23日 男鹿地区消防一部事務組合火災予防条例を改正
- 4月 1日 職員2名採用（実員149名）
- 4月 1日 大型高所放水車、大型化学消防車、泡原液搬送車、化学消防車、天王救急車を緊急消防援助隊に登録
- 11月24日 大潟分署2B型救急自動車を更新
- 12月 6日 救急救命士1名誕生（計11名）
- 12月24日 本署第1指揮車を更新

- 10月23日 新潟県中越地震 M6.8（死者68名、負傷者4,805名）
- 12月26日 スマトラ沖地震 M9.1（死者・不明者 約225,000名）

【平成17年】

- 2月 8日 本署大型高所放水車を更新
- 3月22日 市町村合併（旧男鹿市・旧若美町が合併し男鹿市、旧天王町・旧昭和町・旧飯田川町が合併し潟上市）
- 3月24日 秋田県広域消防相互応援協定に基づき大型高所放水車及び大型化学消防車が、日本大昭和板紙東北株式会社（秋田市向浜）カットタイヤビン

火災に出動

- 4月 1日 職員2名採用（実員149名）
- 4月21日 自動体外式除細動器講習を開催（職員52名受講）
- 4月28日 自動体外式除細動器講習を開催（職員54名受講）
- 11月11日 若美分署救急自動車を高規格救急自動車（4WD）に更新
- 12月 5日 救急救命士1名誕生（計12名）
- 12月26日 本署泡原液搬送車を更新

- 4月25日 尼崎JR福知山線脱線事故（死者107名、負傷者562名）
- 8月29日 米国ハリケーン「カトリーナ」被害（死者1,836名〔8/23～8/31まで〕不明者705名）

【平成18年】

- 4月 1日 消防本部に予防課を新設
- 4月 1日 職員3名採用（実員150名）
- 4月 1日 若美救急車を緊急消防援助隊に登録
- 7月 6日 本署及び各分署冷房設備設置工事完成
- 9月29日 救急高度化資機材を導入（東分署）

【平成19年】

- 3月 8日 救急救命士による薬剤投与開始
- 4月 1日 職員6名採用（実員150名）
- 4月 1日 北分署消防ポンプ自動車を緊急消防援助隊に登録
- 4月13日 患者等搬送事業者第1号を認定
- 4月20日 救急救命士1名誕生（計13名）
- 9月 4日 北分署救急自動車を高規格準拠型救急自動車（4WD）に更新

- 9月29日～10月9日 秋田わか杉国体開催

【平成20年】

- 4月 1日 職員6名採用（実員152名）
- 4月10日 救急救命士1名誕生（計14名）
- 11月11日 本署高規格救急自動車（4WD）を更新
- 12月10日 北分署消防ポンプ自動車（4WD）を更新

- 6月14日 岩手・宮城内陸地震 M7.2（死者17名・不明者6名）
緊急消防援助隊出動
- 7月24日 岩手県沿岸北部地震 M6.8（死者1名・負傷者207名）
緊急消防援助隊出動

【平成21年】

- 2月19日 防災普及車を緊急自動車に艀装
- 3月18日 資機材搬送車を緊急自動車に艀装
- 3月31日 防災普及車を災害対策車へ名称変更
- 3月31日 本署救急車、災害対策車を緊急消防援助隊に登録し、天王救急車を抹消
- 4月 1日 職員6名（うち、救急救命士1名・女性職員1名）採用（実員153名）
- 4月10日 救急救命士1名誕生（計16名）
- 7月 3日 本署水上オートバイを更新

【平成22年】

- 2月 1日 本署救助工作車を更新（Ⅱ型・4WD）

- 4月 1日 職員7名採用（実員153名）
- 4月 1日 救助工作車を緊急消防援助隊に登録
- 4月13日 救急救命士2名誕生（計18名）
- 7月30日 大瀧分署広報車を更新
- 11月16日 天王南分署救急車を高規格準拠型救急自動車（4WD）に更新
- 12月24日 気象観測装置を更新

【平成23年】

- 4月 1日 職員8名採用（実員148名）
 - 4月12日 救急救命士2名誕生（計20名）
 - 12月 9日 本署高所放水車オーバーホール完成
- 3月11日 東日本大震災 M9.0（死者19,533名、重軽症者6,230名、警察に届出があった不明者2,585名。平成29年3月1日現在）
 - 緊急消防援助隊出動（岩手県、宮城県合計延べ16部隊50名）

【平成24年】

- 2月24日 北分署及び天王南分署広報車（4WD）2台を更新
- 3月14日 若美分署消防ポンプ自動車（4WD）を更新
- 4月 1日 職員7名採用（実員149名）
- 4月10日 救急救命士2名誕生（計22名）
- 10月26日 若美分署広報車（4WD）を更新
- 11月22日 天王分署高規格救急車を更新（秋田県共済農業協同組合連合会より寄贈）

【平成25年】

- 2月28日 天王分署水槽付消防ポンプ車（4WD）を更新
- 4月 1日 職員5名採用（実員149名）
- 4月 1日 特別救助隊発足
- 4月 8日 救急救命士2名誕生（計24名）
- 6月29日 第66回秋田県消防大会を男鹿市で開催

【平成26年】

- 2月26日 通信指令室増築
- 3月31日 救急救命士2名誕生（計26名）
- 4月 1日 救急救命士の処置拡大に伴い、心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び低血糖症例へのブドウ糖溶液投与を開始
- 7月 1日 高機能消防指令システム運用開始
- 8月 7日 東分署広報車（4WD）を更新
- 10月20日 東分署救急車を高規格準拠型救急自動車（4WD）に更新

【平成27年】

- 2月25日 東分署消防ポンプ自動車を更新（CD-I型・4WD）
- 3月31日 救急救命士2名誕生（計28名）
- 4月 1日 職員5名採用（実員149名）
- 4月 1日 消防救急デジタル無線運用開始
- 9月 3日 天王分署広報車（4WD）を更新
- 10月19日 大瀧分署救急自動車を高規格準拠型救急自動車（4WD）に更新

【平成28年】

- 2月25日 大瀧分署水槽付消防ポンプ自動車を更新（I-B型・4WD）
- 3月31日 救急救命士2名（うち女性の救急救命士1名）誕生（計28名）

- 4月 1日 職員4名（うち女性1名）採用（実員148名）
職員再任用制度が開始され、2名を再任用
- 9月 9日 本署第1広報車を更新
- 10月 3日 若美分署高規格救急自動車（4WD）を更新
- 10月19日 本署第2指揮車を更新

4月14日 熊本地震 M6.5

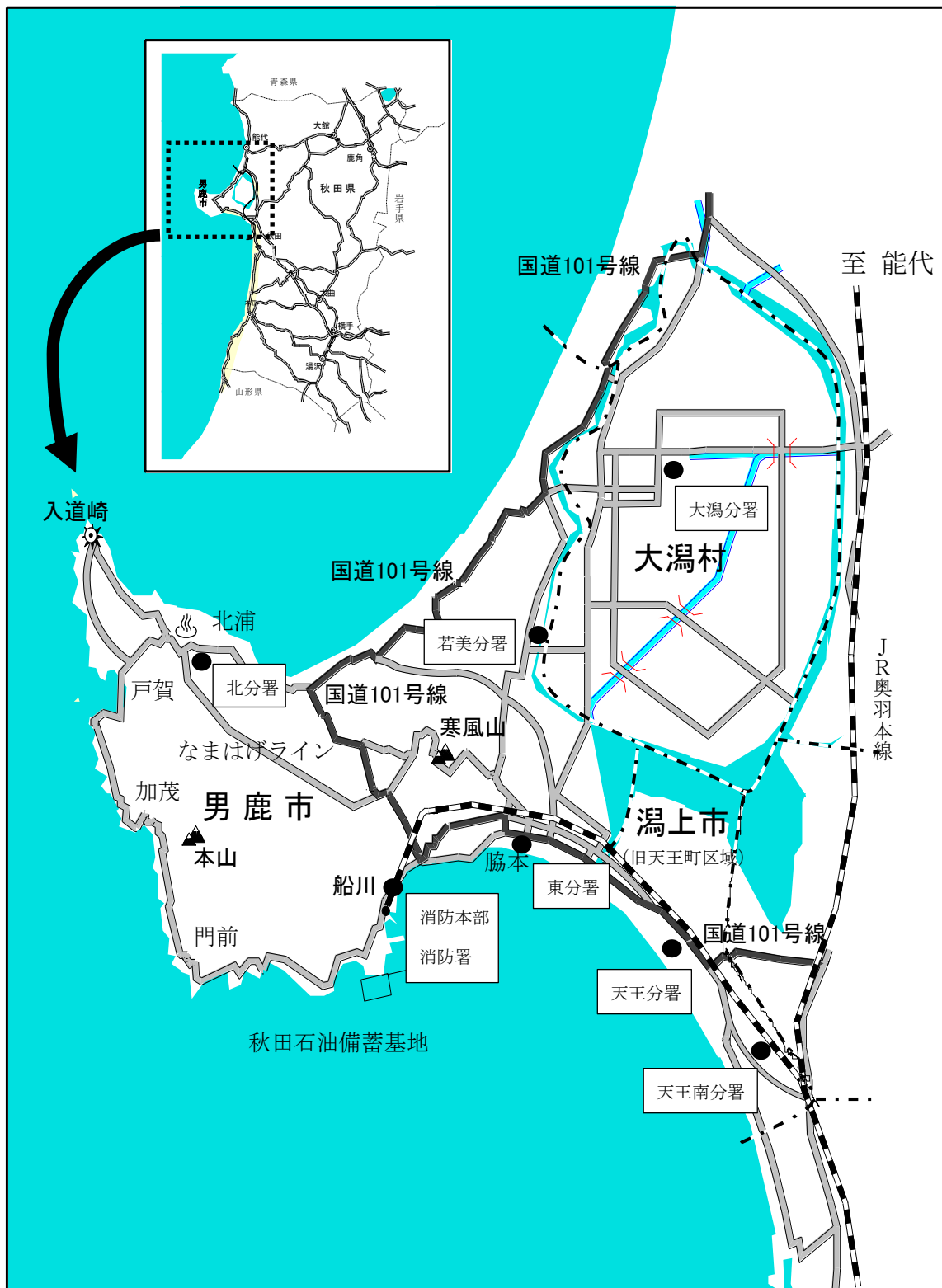
4月16日 熊本地震 M7.3

（死者234名、重軽傷者2,701名 平成29年6月22日現在）

【平成29年】

- 2月27日 本署消防ポンプ自動車を更新（CD-I型・4WD）
- 3月31日 救急救命士2名誕生（計30名）
- 4月 1日 職員7名（うち救急救命士1名）採用（実員149名）

組合の位置・管轄区域・消防本部等の配置図



管 轄 面 積 ・ 人 口 ・ 世 帯 数

H 2 9 . 4 . 1

区 分 市 村 別	面 積	人 口	世 帯 数
合 計	4 5 2 . 6 4 K m ²	5 3 , 6 6 3 人	2 3 , 2 1 8 世 帯
男 鹿 市	2 4 1 . 0 9 K m ²	2 8 , 7 2 1 人	1 3 , 1 4 1 世 帯
潟 上 市 (旧天王町区域)	4 1 . 4 4 K m ²	2 1 , 7 9 8 人	9 , 0 3 9 世 帯
大 潟 村	1 7 0 . 1 1 K m ²	3 , 1 4 4 人	1 , 0 3 8 世 帯

資料：構成市村

消 防 本 部 等 の 所 在 地

H 2 9 . 4 . 1

名 称	所 在 地	電 話 番 号 F A X 番 号	郵 便 番 号
消 防 本 部	男鹿市船川港船川字海岸通り 2 号 12-7	0185(23)3139 0185(24)4161	010-0511
消 防 署	男鹿市船川港船川字海岸通り 2 号 12-7	0185(23)3119 0185(22)0202	010-0511
北 分 署	男鹿市北浦北浦字種田 69-3	0185(33)3011 0185(33)3063	010-0683
東 分 署	男鹿市脇本脇本字上谷地 130-1	0185(25)2119 0185(25)2168	010-0342
若 美 分 署	男鹿市鶴木字下潟端 212	0185(46)3119 0185(46)3967	010-0421
天 王 分 署	潟上市天王字蒲沼 99-5	018(878)3434 018(878)7672	010-0201
天王南分署	潟上市天王字北野 1-18	018(872)1119 018(893)3223	010-0201
大 潟 分 署	南秋田郡大潟村字東二丁目 2-2	0185(45)2560 0185(45)2653	010-0442

消 防 庁 舎 の 現 況

【消防本部・本署】

鉄筋コンクリート造2階建
一部鉄骨造3階建
建築面積 1,280.558 m²
延床面積 1,946.495 m²
敷地面積 2,611.920 m²
建築年月日 昭和59年3月15日
増築年月日 平成26年2月26日
備 考 訓練塔



【北 分 署】

鉄骨造平屋建
建築面積 355.111 m²
延床面積 367.567 m²
敷地面積 1,342.090 m²
建築年月日 平成2年3月22日
備 考 訓練塔



【東 分 署】

鉄骨造平屋建
建築面積 399.835 m²
延床面積 445.780 m²
敷地面積 1,986.240 m²
建築年月日 平成5年12月22日
備 考 訓練塔・副訓練塔



【天王分署】

鉄骨造一部2階建

建築面積 250.540 m²

延床面積 318.600 m²

敷地面積 1,699.975 m²

建築年月日 昭和49年3月30日

備考 ホース架



【天王南分署】

鉄骨造平屋建

建築面積 425.050 m²

延床面積 464.910 m²

敷地面積 3,305.000 m²

建築年月日 平成10年3月20日

備考 ホース架



【若美分署】

鉄骨造一部2階建

建築面積 206.080 m²

延床面積 274.140 m²

敷地面積 5,224.050 m²

建築年月日 昭和49年3月30日

備考 ホース架



【大湊分署】

鉄骨造平屋建

建築面積 394.130 m²

延床面積 402.340 m²

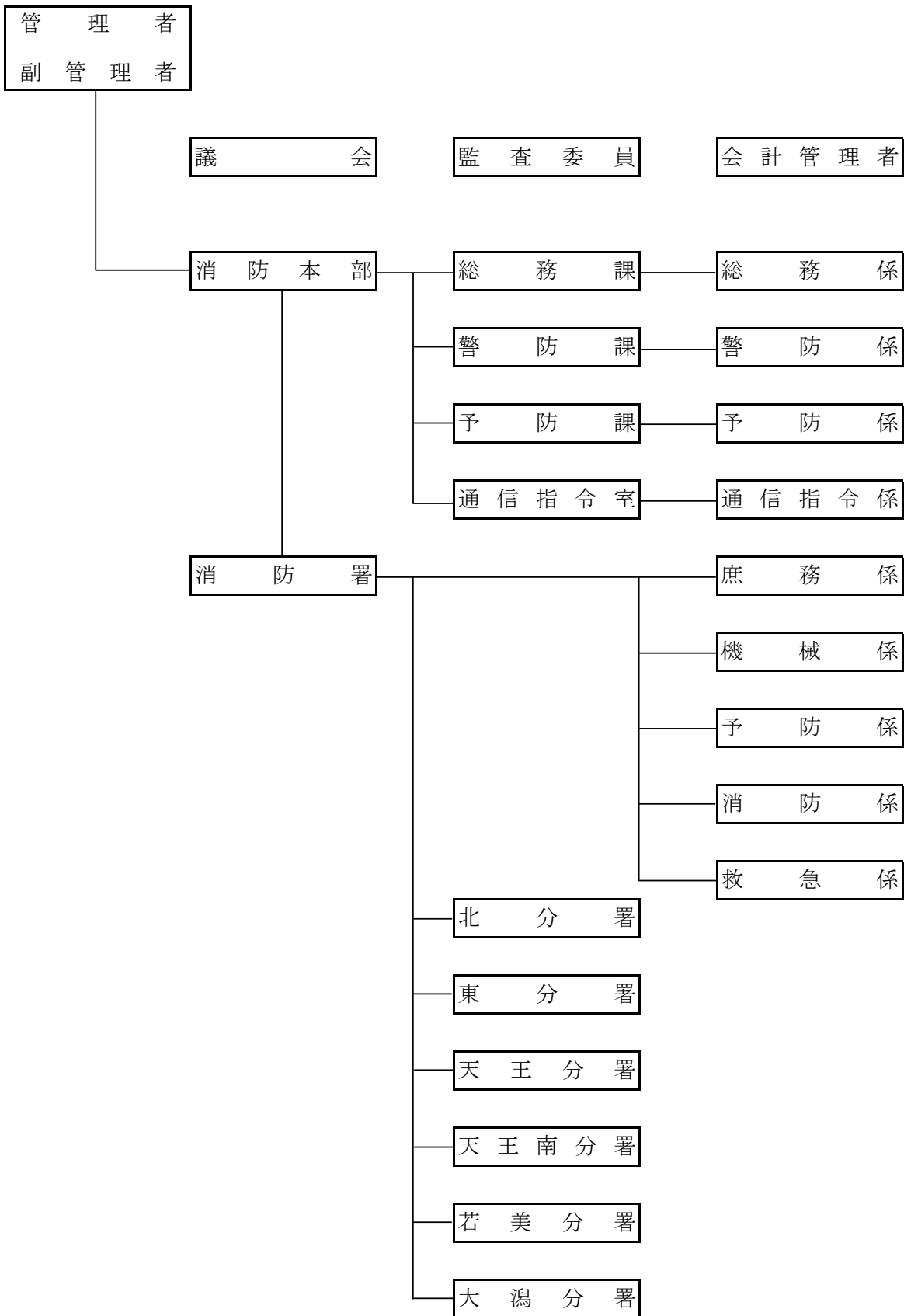
敷地面積 1,639.690 m²

建築年月日 平成7年3月20日

備考 訓練塔



消 防 組 織 図



消 防 本 部 事 務 分 掌

【総務課】

<ol style="list-style-type: none">1. 組織機構に関すること。2. 職員の人事及び給与に関すること。3. 令達及び例規に関すること。4. 職員の福利厚生、教養研修、安全衛生、公務災害補償関係に関すること。5. 文書及び物品の受発に関すること。6. 公印の管理に関すること。7. 組合議会に関すること。8. 予算及び経理に関すること。9. 消防職員委員会に関すること。10. 消防長会及び消防協会に関すること。	<ol style="list-style-type: none">11. 組合構成市村との連絡に関すること。12. 陳情、請願に関すること。13. 渉外、儀式に関すること。14. 服務規律に関すること。15. 安全運転管理に関すること。16. 庁舎及び財産に関すること。17. 機械器具の維持管理に関すること。18. 物品購入、被服品の貸与等に関すること。19. 設備台帳に関すること。20. 消防音楽隊に関すること。21. その他、他の係に属しないこと。
--	---

【警防課】

<ol style="list-style-type: none">1. 消防計画の策定に関すること。2. 消防、救急、救助に関すること。3. 相互応援に関すること。4. 統計、年報の作成に関すること。5. 訓練に関すること。6. 消防機械器具の改善、研究に関すること。7. 消防部隊運用計画の策定に関すること。8. 消防力の配備計画に関すること。9. 消防関係機関との連絡調整に関すること。	<ol style="list-style-type: none">10. 緊急消防援助隊等に関すること。11. 災害の調査及び報告に関すること。12. メディカルコントロール協議会等に関すること。13. 救急医療機関との連絡調整に関すること。14. 救急救命士及び救急隊員の教育に関すること。15. 救急の搬送証明等に関すること。
--	---

【予防課】

<ol style="list-style-type: none">1. 建築同意事務に関すること。2. 防火管理者に関すること。3. 予防クラブの育成に関すること。4. 予防対策の企画立案及び総合調整に関すること。5. 危険物の規制に関すること。6. 危険物事故等の原因調査及び報告に関すること。7. 予防規程の認可に関すること。	<ol style="list-style-type: none">8. 消防用設備等の規制に関すること。9. 火災原因及び損害調査に関すること。10. 罹災証明に関すること。11. 査察に関すること。12. 違反防火対象物の処理に関すること。13. 火災予防関係例規の制定及び改廃に関すること。14. 予防広報に関すること。
--	---

【通信指令室】

<ol style="list-style-type: none">1. 災害の受付及び出動指令の伝達に関すること。2. 通信施設の整備保全に関すること。3. 火災、気象通報の收受連絡に関すること。4. 電話の交換及び放送の運用に関すること。5. 災害時における防災関係機関との連絡に関すること。	<ol style="list-style-type: none">6. 通信業務資料の記録の整備保存に関すること。7. 無線資格者の教養訓練に関すること。8. 通信統制に関すること。9. その他、通信に関すること。
--	---

消 防 署 事 務 分 掌

【庶務係】

<ol style="list-style-type: none">1. 行事及び会議に関する事。2. 文書及び物品の受発に関する事。3. 福利厚生に関する事。4. 庁舎等の付属施設設備の保守管理に関する事。	<ol style="list-style-type: none">5. 勤務割に関する事。6. 来客の応接に関する事。7. 関係機関及び団体との連絡に関する事。8. その他、他の係に属しない事。
---	---

【機械係】

<ol style="list-style-type: none">1. 機械器具の整備に関する事。2. 機械関係燃料等に関する事。	<ol style="list-style-type: none">3. 機関員の教養に関する事。4. 消防水利に関する事。
---	---

【予防係】

<ol style="list-style-type: none">1. 消防用設備等の規制に関する事。2. 防火対象物に関する事。3. 防災規制に関する事。4. 査察に関する事。5. 火災原因及び損害調査に関する事。	<ol style="list-style-type: none">6. 広報に関する事。7. 防火管理者に関する事。8. 催物開催等に関する事。9. 住宅防火に関する事。
---	---

【消防係】

<ol style="list-style-type: none">1. 消防教養訓練に関する事。2. 非常警備に関する事。3. 消防統計に関する事。	<ol style="list-style-type: none">4. 消防広報に関する事。5. 救助に関する事。6. 救助統計に関する事。
---	---

【救急係】

<ol style="list-style-type: none">1. 救急に関する事。2. 救急統計に関する事。	<ol style="list-style-type: none">3. 応急手当の普及に関する事。
---	--

正副管理者・議会議員・幹部職員一覧

【組合執行機関】

H29.5.1現在

職名	氏名	備考
管理者	菅原 広二	男 鹿市長
副管理者	藤原 一成	潟上市市長
副管理者	高橋 浩人	大潟村長

【組會議長・副議長】

H29.4.1現在

職名	氏名	備考
議長	船木 正博	男 鹿市議会議員
副議長	戸田 俊樹	潟上市議会議員

【消防職員】

H29.4.1現在

職名	氏名	階級
消防長	浅井 学	消防監
消防次長	古仲 秀公	消防司令長
総務課長	三浦 勇人	消防司令長
総務課参事	石川 浩之	消防司令
警防課長	大場 直樹	消防司令長
警防課参事	高桑 真樹	消防司令
予防課長	近藤 重美	消防司令長
予防課参事	加藤 一則	消防司令
通信指令室長	菅原 寿	消防司令長
消防署長	三浦 和也	消防司令長
副署長	関 金哉	消防司令
副署長	安田 正人	消防司令
北分署長	宇佐 美誠	消防司令
東分署長	菅原 宏樹	消防司令
天王分署長	大越 満夫	消防司令
天王南分署長	上村 誠	消防司令
若美分署長	嶋宮 博道	消防司令
大潟分署長	渡部 一哉	消防司令

歴代正副管理者・議会議長一覧

【管理者】

歴代	氏名	就任	退任	備考
初代	斎藤久治	S48. 6. 1	S49. 4. 29	旧男鹿市市長
二代	吉田金忠	S49. 4. 30	S61. 4. 29	〃
三代	菅原慶吉	S61. 4. 30	H5. 3. 25	〃
四代	佐藤一誠	H5. 5. 19	H17. 3. 21	〃
五代	佐藤一誠	H17. 4. 17	H21. 4. 2	男鹿市長
六代	渡部幸男	H21. 4. 20	H29. 4. 11	〃
七代	菅原広二	H29. 4. 12	現在	〃

【副管理者】

初代	藤原慶三郎	S48. 6. 1	H7. 4. 16	旧天王町町長
二代	桜庭敏朗	H7. 5. 28	H11. 5. 18	〃
三代	石川光男	H11. 7. 4	H17. 3. 21	〃
四代	石川光男	H17. 4. 17	H29. 4. 16	潟上市市長
五代	藤原一成	H29. 4. 17	現在	〃

【副管理者】

初代	嶋貫隆之助	S48. 6. 1	S53. 9. 4	大潟村長
二代	宮田正尙	S53. 9. 5	H12. 9. 4	〃
三代	黒瀬喜多	H12. 9. 5	H20. 9. 4	〃
四代	高橋浩人	H20. 9. 5	現在	〃

【副管理者】

初代	渡部静雄	S48. 6. 1	S51. 5. 4	旧若美町町長
二代	渡部博志	S51. 5. 5	S55. 5. 4	〃
三代	渡部静雄	S55. 5. 5	S63. 5. 4	〃
四代	吉田直儀	S63. 5. 5	H8. 10. 23	〃
五代	佐藤文衛	H8. 12. 8	H17. 3. 21	〃

【議長】

初代	福島亀蔵	S48. 6. 12	S50. 3. 30	旧男鹿市市議会議員
二代	目黒晃治郎	S50. 4. 28	S54. 3. 30	〃
三代	加藤公朗	S54. 5. 15	S58. 4. 21	〃
四代	江畑与太郎	S58. 6. 6	S62. 4. 25	〃
五代	新出金市	S62. 6. 1	H3. 4. 25	〃
六代	福永宏平	H3. 5. 17	H7. 4. 25	〃
七代	杉本博治	H7. 6. 5	H7. 12. 1	〃
八代	船木慶一	H7. 12. 22	H11. 4. 25	〃
九代	佐々木喜久治	H11. 5. 31	H15. 4. 25	〃
十代	小野健一	H15. 6. 19	H17. 1. 9	〃
十一代	大淵與吉	H17. 6. 28	H18. 4. 21	男鹿市議会議員
十二代	高桑國三	H18. 6. 1	H22. 4. 21	〃
十三代	吉田直儀	H22. 6. 4	H25. 12. 1	〃
十四代	船木正博	H25. 12. 9	現在	〃

歴代監査委員・収入役・消防長一覧

【監査委員】（識見を有する者）

歴代	氏名	就任	退任	備考
初代	高橋 金蔵	S48. 6. 12	S52. 6. 11	
二代	栄田 利春	S52. 6. 13	S55. 12. 24	
三代	小澤田 仁助	S55. 12. 27	H 8. 12. 26	
四代	進藤 正	H 8. 12. 26	H16. 12. 26	
五代	木元 誠一	H16. 12. 27	H24. 12. 26	
六代	西方 文太郎	H24. 12. 27		現在

【監査委員】（議員）

初代	京谷 仁太郎	S48. 6. 12	S54. 2. 15	
二代	佐々木 吉男	S54. 2. 26	S56. 6. 8	
三代	三浦 兼吉	S56. 12. 25	S58. 2. 15	
四代	堀井 克見	S58. 3. 23	S62. 2. 15	
五代	丸野内 多助	S62. 3. 23	H 3. 2. 15	
六代	堀井 克見	H 3. 3. 20	H 7. 2. 15	
七代	渡部 喜美雄	H 7. 3. 17	H11. 2. 15	
八代	堀井 克見	H11. 3. 24	H17. 3. 21	
九代	阿部 文夫	H17. 6. 28	H20. 9. 4	
十代	村上 彬	H20. 12. 19	H24. 9. 4	
十一代	川渕 文雄	H24. 12. 25	H28. 9. 4	
十二代	菅原 史夫	H28. 12. 22		現在

【収入役】（男鹿市収入役） ※平成19年4月1日より収入役制度廃止

初代	江畑 与太郎	S48. 6. 1	S48. 11. 19	
二代	古仲 士郎	S49. 6. 10	S57. 6. 9	
三代	伊藤 未治郎	S57. 6. 10	S61. 5. 15	
四代	夏井 純治	S61. 5. 23	H 6. 5. 22	
五代	佐藤 忍	H 6. 5. 23	H14. 5. 22	
六代	村岡 賢一	H14. 5. 23	H17. 3. 21	
七代	伊藤 正孝	H17. 5. 10	H19. 3. 31	

【消防長】

初代	渡部 善男	S48. 6. 1	S49. 1. 9	
二代	船木 勘治郎	S49. 1. 10	S49. 6. 30	
三代	鎌田 悦夫	S49. 7. 1	S56. 3. 31	
四代	天野 厚治	S56. 4. 1	S62. 3. 31	
五代	三浦 清司	S62. 4. 1	S63. 9. 30	
六代	伊藤 一太郎	S63. 10. 1	H 2. 3. 31	
七代	大野 晨一郎	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	
八代	高桑 芳英	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
九代	坂本 金善	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
十代	笠原 萬良	H 8. 4. 1	H 9. 4. 30	
十一代	佐藤 耕悦	H 9. 5. 1	H11. 3. 31	
十二代	佐藤 學	H11. 4. 1	H13. 3. 31	
十三代	薄田 二三雄	H13. 4. 1	H14. 3. 31	
十四代	古仲 東一	H14. 4. 1	H17. 3. 31	
十五代	佐藤 政行	H17. 4. 1	H19. 3. 31	
十六代	近藤 利蔵	H19. 4. 1	H22. 3. 31	
十七代	加賀 邦正	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
十八代	天野 正廣	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
十九代	大高 正人	H24. 4. 1	H27. 3. 31	
二十代	浅井 学	H27. 4. 1		現在

平成 2 9 年 度 当 初 予 算

歳 入

(単位：千円)

款	本 年 度		前 年 度		増 減
	予 算 額	構 成 比 (%)	予 算 額	構 成 比 (%)	
分担金及び負担金	1,397,506	92.9	1,402,439	94.7	△4,933
使用料及び手数料	8,126	0.5	8,126	0.6	0
繰越金	1	0.0	1	0.0	0
諸収入	6,724	0.5	7,240	0.5	△516
組合債	92,500	6.1	62,500	4.2	30,000
歳入合計	1,504,857	100.0	1,480,306	100.0	24,551

歳 出

(単位：千円)

款	本 年 度		前 年 度		増 減
	予 算 額	構 成 比 (%)	予 算 額	構 成 比 (%)	
議会費	1,991	0.1	295	0.0	1,696
総務費	128,761	8.6	145,607	9.8	△16,846
消防費	1,256,201	83.5	1,253,535	84.7	2,666
公債費	117,604	7.8	80,569	5.5	37,035
予備費	300	0.0	300	0.0	0
歳出合計	1,504,857	100.0	1,480,306	100.0	24,551

職 員 配 置 状 況

H29. 4. 1

階 級 別		計	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	
所 属 別										
計		149 (5)	1	6	34 (5)	45	25	9	29	
消 防 本 部	消 防 長 消 防 次 長	2	1 (日)	1 (日)						
	総 務 課	6		1 (日)	2 (日)	1 (日)	1 (日)		1	
	警 防 課	6		1 (日)	2 内 1 (日)	1	1		1	
	予 防 課	6		1 (日)	2 内 1 (日)	1	1		1	
	通 信 室 指 令 室	8		1 (日)	1	3	1	1	1	
消 防 署	署 長	1		1 (日)						
	本 署	副 署 長 当 直 司 令	4			4				
		副 当 直 司 令	5			5				
		庶 務 係	4 (1)			(1)	1	1	1	1
	分 署	機 械 係	4 (1)			(1)	1	1		2
		予 防 係	4 (1)			(1)	1	1		2
		消 防 係	4 (1)			(1)	1	1		2
		救 急 係	4 (1)			(1)	1	2		1
	分 署	北 分 署	15			3	5	3	1	3
		東 分 署	15			3	6	2	1	3
		天 王 分 署	15			3	6	2	1	3
		天 王 南 分 署	15			3	6	2	2	2
		若 美 分 署	15			3	6	2	1	3
大 湊 分 署		15			3	5	3	1	3	
防 災 航 空 隊 派 遣		1					1			

(日) は日勤・ () は副当直司令が係長を兼務

階級別勤続年数別職員数

H29. 4. 1

階級別 勤続年数	計	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
計	149	1	6	34	45	25	9	29
1年未満	7							7
1～2	4							4
2～3	4							4
3～4	0							
4～5	5							5
5～6	6							6
6～7	8						5	3
7～8	7					3	4	
8～9	6					6		
9～10	4					4		
10～11	5					5		
11～12	3					3		
12～13	2				1	1		
13～14	2					2		
14～15	2				2			
15～16	0							
16～17	7				7			
17～18	4				3	1		
18～19	7				7			
19～20	8			2	6			
20～21	7				7			
21～22	2				2			
22～23	0							
23～24	8			1	7			
24～25	2			1	1			
25～26	0							
26～27	4			4				
27～28	0							
28～29	4			4				
29～30	0							
30～31	5			3	2			
31～32	1			1				
32～33	5			5				
33～34	7	1	2	4				
34～35	3			3				
35～36	1		1					
36～37	4			4				
37～38	1		1					
38～39	3		2	1				
39～40	1			1				
40～41	0							
41～42	0							
平均勤続年数	17.0	33.0	35.7	30.5	19.3	9.7	6.4	2.8

階 級 別 年 令 別 職 員 数

H29. 4. 1

階 級 別 年 令	計	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士
計	149	1	6	34	45	25	9	29
20才未満	7							7
20才	2							2
21才	1							1
22才	4							4
23才	5							5
24才	4							4
25才	1						1	
26才	5						2	3
27才	5					2	1	2
28才	5					1	3	1
29才	4					4		
30才	4					2	2	
31才	4					4		
32才	6				1	5		
33才	4					4		
34才	0							
35才	4				1	3		
36才	2				2			
37才	4				4			
38才	4				4			
39才	4				4			
40才	6				6			
41才	8				8			
42才	6				6			
43才	2				2			
44才	2			1	1			
45才	3			1	2			
46才	2			2				
47才	2			1	1			
48才	3			2	1			
49才	3			3				
50才	2			2				
51才	3			3				
52才	2			1	1			
53才	2			1	1			
54才	1			1				
55才	2			2				
56才	5		2	3				
57才	10		2	8				
58才	2	1		1				
59才	4		2	2				
平均年令	38.3	58.0	57.3	52.7	40.8	31.2	27.6	22.4

消 防 学 校 等 入 校 状 况

H29. 4. 1

機 関 名		年 度 別 計	48	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
			年 度 計	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度	年 度
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科	4	1									1	1	1				
	幹 部 科	1															1	
	予 防 科	6	4	1							1							
	危 険 物 科	3	2													1		
	救 急 科	5	4					1										
	警 防 科	4	2			1				1								
	救 助 科	2	1												1			
	危機管理・防災教育科	1																1
救急救命東京研修所		31	8	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
指導救命士養成研修		2														1		1
秋 田 県 消 防 学 校	特 別 教 育	148	70	3	3	3	3	3	5	5	6	6	6	6	6	7	7	9
	上 級 幹 部 科	4				2	2											
	幹 部 科	24	8						1	1	1	1	2	1	1	3	2	3
	初 任 科	159	95	2	2	2	2	3	6	6	6	7	8	7	5		4	4
	予 防 査 察 科	37	23	2				2		1		1		1		5		2
	危 険 物 科	12			1		2		2		1		1		1		4	
	警 防 科	39	14	2	1		2	1	2	1	1	1	1	1	1	5	4	2
	火 災 調 査 科	37	16				2	1	2	1	1	1	1	1	1	4	4	2
	特 殊 災 害 科	15								1	1	1	1	1	1	4	3	2
	無 線 通 信 科	9	9															
	救 急 科	189	99	5	5	5	5	5	5	5	8	8	9	7	8	7	4	4
	救 助 科	31	11	1	1			1	2		1	1	1	2	2	4	2	2
	救 急 II 課 程	45	45															

応 援 協 定 等 の 状 況

協 定 等 の 名 称	協定年月日	業 務 内 容	協定先機関の名称
船舶火災の消火に関する秋田海上保安部と男鹿地区消防本部との業務協定	昭和44年11月1日	船 舶 火 災	秋 田 海 上 保 安 部
船舶からの流出油事故対策に関する覚書	昭和47年8月17日	流 出 油 事 故	秋 田 海 上 保 安 部
秋田県広域消防相互応援協定	平成6年12月1日	広域消防業務	秋 田 県 下 消 防 本 部
秋田県消防防災ヘリコプター応援協定	平成11年4月1日	広域消防業務	秋 田 県 下 消 防 本 部
秋田県沿岸流出油等災害対策協議会	平成16年4月1日	海洋汚染及び海上災害防止	秋 田 海 上 保 安 部 協議会会員70機関
船川地区における大規模火災等の消火に関する応援協定	平成17年3月10日	大 規 模 火 災	株式会社男鹿テクノ
消防相互応援協定	平成17年3月22日	消 防 相 互 応 援	湖 東 地 区 行 政 一 部 事 務 組 合
鉄道災害発生時における消防活動に関する協定	平成20年9月17日	鉄 道 災 害	JR 東日本旅客鉄道(株) 秋 田 支 社 盛 岡 支 社
災害時における相互協力に関する協定	平成23年12月27日	相 互 協 力 協 定	男 鹿 市 署 男 鹿 警 察 署

緊 急 消 防 援 助 隊 の 登 録 状 況

登 録 年 月 日	登 録 車 両
平成29年4月1日	大 型 高 所 放 水 車 大 型 化 学 消 防 車 泡 原 液 搬 送 車 化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車 高 規 格 救 急 自 動 車 (2台) 救 助 工 作 車 消 防 ポ ン プ 自 動 車 災 害 対 策 車